

観 日本カンボジア協会

1. 沿革

日本カンボジア間の民間友好団体としては、戦後日本 V C L 協会（1952 年日本インドシナ貿易協会として発足、1956 年改称）および日本カンボジア友好会（1954 年発足）の 2 団体があり、前者は主に経済協力の問題、後者は主に文化交流の問題に重点をおいていた。

しかるに 1963 年初頭、両団体の合同と法人格の取得を要望する声が内外におこり、両団体有志の手によつて新団体設立の準備が進められることとなつた。同年 7 月に至り、ようやく新団体設立の方針もきまりこれを両団体の総会にはかつたところ、共にこれを承認し、両団体は新団体設立と同時に発展解消することを決定した。

爾後、植村甲午郎以下 11 名の発起人が「社団法人日本カンボジア協会」設立趣意書を各方面に配布、同年 9 月 25 日、約 60 名の会員をもつて設立総会が開かれた。

同年 11 月 5 日には、外務大臣より社団法人設立の許可があり、ここに「社団法人日本カンボジア協会」は正式に発足の運びとなつた。

2. 会 員

法人会員と個人会員をもつて構成されている。会員になるには、法人たると個人たるとにかかわらず、会員2名以上の推薦と、理事会の承認を必要としている。

現在（昭和41年11月）の会員数は法人34、個人34、計68である。

3. 組織および役員

最高の意志決定機関たる総会のほか、常任理事会および理事会が設けられている。通常総会は毎年5月に開催され、臨時総会、常任理事会および理事会は、随時必要に応じて開かれる。

役員の任期は2年間で、現役員の任期は1968年5月までである。現役員は以下のとおり。

会 長	植 村 甲午郎		
副 会 長	久保田 貫一郎		
常任理事	稲 畑 太 郎	芝 辻 正 晴	
	千 賀 鉄 也	松 下 光 広	
	吉 岡 範 武		
理 事	岩 田 喜 雄	大 橋 忠 一	
	大 林 芳 郎	小 田 親	
	河 合 良 成	久保田 豊	
	小 出 武 夫	小 林 宏 治	
	芳 賀 四 郎	堀 江 薫 雄	
	柳 田 誠二郎		
監 事	新 谷 哲 次	檜 垣 文 市	

4. 目的と事業

社団法人日本カンボジア協会の目的は、日本とカンボジア王国との友好関係を深め、経済開発、貿易振興、技術開発への協力、ならびに文化の交流をはかり、相互の深い理解と信頼のもとに、アジアの平和と繁栄をはかることにある。

このため、各種必要な事業を行なっているが、その主たるものは、カンボジア事情の調査、資料の入手・配布、講演会・座談会・研究会等の開催、来日カンボジア人に対する便宜供与、機関誌「カンボジア」（季刊）の発行などである。また、カンボジア文化の紹介をはじめ、カンボジア一次産品の開発促進、貿易アンバランスの是正にも力を注いでいる。

事務所

東京都千代田区大手町 1-5-7

経団連会館 6階

電話 東京(03) 279-1411(代)

内線 333・336・337